

瀬戸内町告示第 41 号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、平成23年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成23年11月1日

瀬戸内町長 房 克臣

平成23年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

ま え が き	1
1 平成22年度 決算のあらまし	2
(1) 概要	2
(2) 各会計実質収支の状況	2
(3) 一般会計歳入の状況	8
(4) 一般会計歳出の状況	10
(5) 町債の状況	12
2 平成23年度 上半期財政運営のあらまし	13
(1) 予算の規模	13
(2) 予算の執行状況	17
3 町有財産の状況	19

財政動向及び財政指針

本町では、町民の皆様にも町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、平成22年度決算及び平成23年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

22年度の日本経済は、中国や新興国を中心とする外需の増加やエコカー、薄型テレビ等の販売など消費刺激策を背景に景気は緩やかな回復を続けています。しかし、秋以降駆け込み需要の反動から景気改善の動きが弱まり、また円高問題や新卒者の就職難、更には高い失業率と未だ先行き不透明感が払拭できない状況となっております。そうした中、3月11日に発生した東日本大震災により状況は大きく変化し、生産面を中心に下押し圧力が強くなりました。

本町においても、財政健全化の流れを踏まえつつ、国の緊急経済対策と連携した地域活性化事業を進めていたところですが、10月20日に発生した豪雨災害による災害復旧事業費の増加や、積立基金の残高不足等にも喫緊に対応していかなければならないなど財政健全化へ向けた兆しの硬直化が懸念されます。今後とも財政規律を遵守し、財政運営の安定化に努め、住民参加のまちづくりに向けた各種事業を実施しながら財源を確保してまいります。

本町の22年度決算は、連結赤字が解消したものの依然特別会計の累積赤字は拡大しており、23年度上半期については、奄振予算が削減される中、元気な日本を復活させるべく国が掲げた新たな成長戦略「元気な日本復活特別枠」を注視しつつ、限られた財源の有効且つ効率的活用と歳出見直しに努め、予算を配分しました。

また、新しい地方自治の時代に的確に対応していくため、住民福祉の向上と活力ある地域社会の構築を図り、実効性のある行財政改革を推進し、持続可能な財政運営への転換を図っていかねばなりません。

今後も、町民と共に連携と協調の精神で最大限の努力を行いながら、限られた財源を有効に活用して行政サービスを維持し、まちづくりに取り組み、職員一人一人がこのような状況を共通認識し、持続可能な瀬戸内町の実現に向けて今何をすべきかを長期的な視点から捉え、新年度予算に反映させる必要があります。

1 平成22年度決算のあらまし

(1) 概要

平成22年度決算は、交付税や地域活性化交付金による歳入の増、人件費や公債費等の減による歳出の減により、財政健全化法上の連結赤字は解消され、危機的状況は回避された。

一般会計と各特別会計の総決算収支(公営企業の水道事業を除く)において、歳入総額12,984,013千円に対し、歳出総額13,019,590千円で、差し引き35,577千円の赤字となり、翌年度へ繰り越すべき財源30,741千円を差し引いた実質収支額は66,318千円であり黒字幅が増大している。

(2) 各会計実質収支の状況

1). 一般会計

平成22年度一般会計歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 9,025,415 千円に対し、歳入 8,867,082 千円、歳出 8,319,559 千円となり、前年度に比べ歳入で 382,067 千円 4.5%の増、歳出で 221,784 千円 2.7%の増となり、決算収支は、歳入歳出差し引き 547,523 千円の黒字で、翌年度へ繰り越すべき財源 30,741 千円を差し引いた実質収支も 516,782 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

一 般 会 計							
年 度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引 A-B C		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			22年度	8,867,082			
21年度	8,485,015	8,097,775	387,240	3,567	383,673	242,288	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
22年度	283,673	0	266,029		150,753		
21年度	215,296	159	3,110		454,633		

2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 373,524 千円に対し、歳入 256,932 千円、歳出 332,680 千円、差し引き 75,748 千円の赤字となっている。

単年度収支については 23,720 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計							
年 度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引 A-B C		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			22年度	256,932			
21年度	248,740	348,208	△ 99,468	0	△ 99,468	△ 23,168	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
22年度	0	0	0		23,720		
21年度	0	0	0		△ 23,168		

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,267,827 千円に対し、歳入 1,744,633 千円、歳出 2,196,437 千円、差し引き 451,804 千円の赤字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の赤字となっている。主な要因は、療養給付費及び前年度繰上充用金によるものである。なお、単年度収支については 269,402 千円の黒字となっており主な要因は、赤字解消 10カ年計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものである。

次に、国民健康保険直営診療勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 21,265 千円に対し、歳入 23,938 千円、歳出 18,218 千円で、差し引き 5,720 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっている。なお、単年度収支についても 2,045 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定								
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
22年度	1,744,633	2,196,437	△ 451,804		0	△ 451,804		269,402
21年度	1,534,035	2,255,241	△ 721,206		0	△ 721,206		9,351
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
22年度	0	0			0	269,402		
21年度	0	0			0	9,351		

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定								
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
22年度	23,938	18,218	5,720		0	5,720		2,045
21年度	27,145	23,470	3,675		0	3,675		△ 1,690
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
22年度	0	0			0	2,045		
21年度	0	0			0	△ 1,690		

4). と畜場事業特別会計

と畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,723 千円に対し、歳入・歳出同額の 2,355 千円となっている。歳出の主なもの、総務管理費の賃金や営業費の中の需用費等(電気料・光熱水費・修繕費・水質検査費)である。

(単位：千円)

と畜場事業特別会計								
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
			A-B	C		C-D	E	
22年度	2,355	2,355	0		0	0		0
21年度	2,580	2,580	0		0	0		0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
22年度	0	0			0	0		
21年度	0	0			0	0		

5). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 292,598 千円に対し、歳入 255,918 千円、歳出 280,246 千円となり、差し引き 24,328 千円の赤字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支で 24,328 千円の赤字となっている。なお、単年度収支については 44,934 千円の黒字となっており主な要因は、施設維持管理費の減及び経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものである。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計								
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
			A-B	C		C-D	E	
22年度	255,918	280,246	△ 24,328		0	△ 24,328		44,934
21年度	230,462	289,724	△ 59,262		10,000	△ 69,262		18,993
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I		
22年度	0	0			0	44,934		
21年度	0	0			0	18,993		

6). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 5,086 千円に対し、歳入 5,178 千円、歳出 2,520 千円、差し引き 2,658 千円の黒字となっている。なお、単年度収支については 146 千円の赤字となっている。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計							
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			A-B	C			
22年度	5,178	2,520	2,658		0	2,658	△ 146
21年度	4,039	1,235	2,804		0	2,804	279
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
22年度	0	0			0	△ 146	
21年度	0	0			0	279	

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 381,133 千円に対し、歳入 289,333 千円、歳出 366,721 千円、差し引き 77,388 千円の赤字となっている。なお、単年度収支については 24,054 千円の黒字となっており主な要因は、料金収入の増、人件費の減、経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものである。

歳出の主なものは、総務管理費として 23,695 千円、せとなみ費として 93,812 千円、フェリーボート費として 119,221 千円、公債費として 28,551 千円となっている。歳入では、せとなみ・フェリーボート運航収入として 130,705 千円、国・県補助金として 109,668 千円、その他一般会計からの繰入金や収入等 48,960 千円となっている。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計							
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			A-B	C			
22年度	289,333	366,721	△ 77,388		0	△ 77,388	24,054
21年度	289,846	391,288	△ 101,442		0	△ 101,442	15,765
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
22年度	0	0			0	24,054	
21年度	0	0			0	15,765	

8). 介護保険特別会計

介護保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,384,112 千円に対し、歳入 1,386,836 千円、歳出 1,352,054 千円、差し引き 34,782 千円の黒字となっており、単年度収支についても 15,388 千円の黒字となっている。主な要因は、国・県支出金、一般会計繰入金の増によるものである。

(単位：千円)

介護保険特別会計								
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引 A-B C		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E		単年度収支 F
			22年度	1,386,836		1,352,054	34,782	
21年度	1,275,811	1,256,417	19,394	0	19,394	13,644		
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I			
22年度	0	0	0		15,388			
21年度	0	0	0		13,644			

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 40,495 千円に対し、歳入 41,187 千円、歳出 39,377 千円で、差し引き 1,810 千円の黒字となっている。翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も 1,810 千円の黒字となっている。主な要因は、一般会計繰入金の増、前年度からの繰越金によるものである。また、単年度収支についても、7,154 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計								
項目 年度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引 A-B C		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E		単年度収支 F
			22年度	41,187		39,377	1,810	
21年度	32,898	31,442	1,456	6,800	△ 5,344	△ 1,919		
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I			
22年度	0	0	0		7,154			
21年度	0	0	0		△ 1,919			

10). 後期高齢者医療事業特別会計

平成20年度から設置された後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 113,414 千円に対し、歳入 110,621 千円、歳出 109,423 千円、差し引き 1,198 千円の黒字となっている。単年度収支についても 839 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計							
年 度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C		C-D E	
22年度	110,621	109,423	1,198		0	1,198	839
21年度	112,862	112,503	359		0	359	△ 271
年 度	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
22年度	0	0			0	839	
21年度	0	0			0	△ 271	

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額 166,654 千円に対し決算額 163,850 千円、支出予算額 166,260 千円に対し決算額 160,818 千円となり、差し引き 3,032 千円の当年度純利益が生じているが、損益計算書での当年度純利益 2,548 千円との差額 484 千円は、消費税相当分である。

一方、資本的収支においては、収入予算額 2 千円に対し決算額 0 千円、支出については、予算額 61,177 千円に対し決算額 60,443 千円となり、差し引き 60,443 千円の収入不足となっている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、過年度分損益勘定留保資金 12,048 千円、当年度分損益勘定留保資金 47,834 千円及び当年度分消費税資本的収支調整額 561 千円を充当して補填している。

(単位：千円)

年 度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
	22年度	163,850	160,818	3,032	0	60,443
21年度	162,859	158,258	4,601	0	43,707	△ 43,707

(3) 一般会計歳入の状況

平成22年度一般会計の歳入決算額は 8,867,082 千円で前年度に比べ4.5%の増となっている。

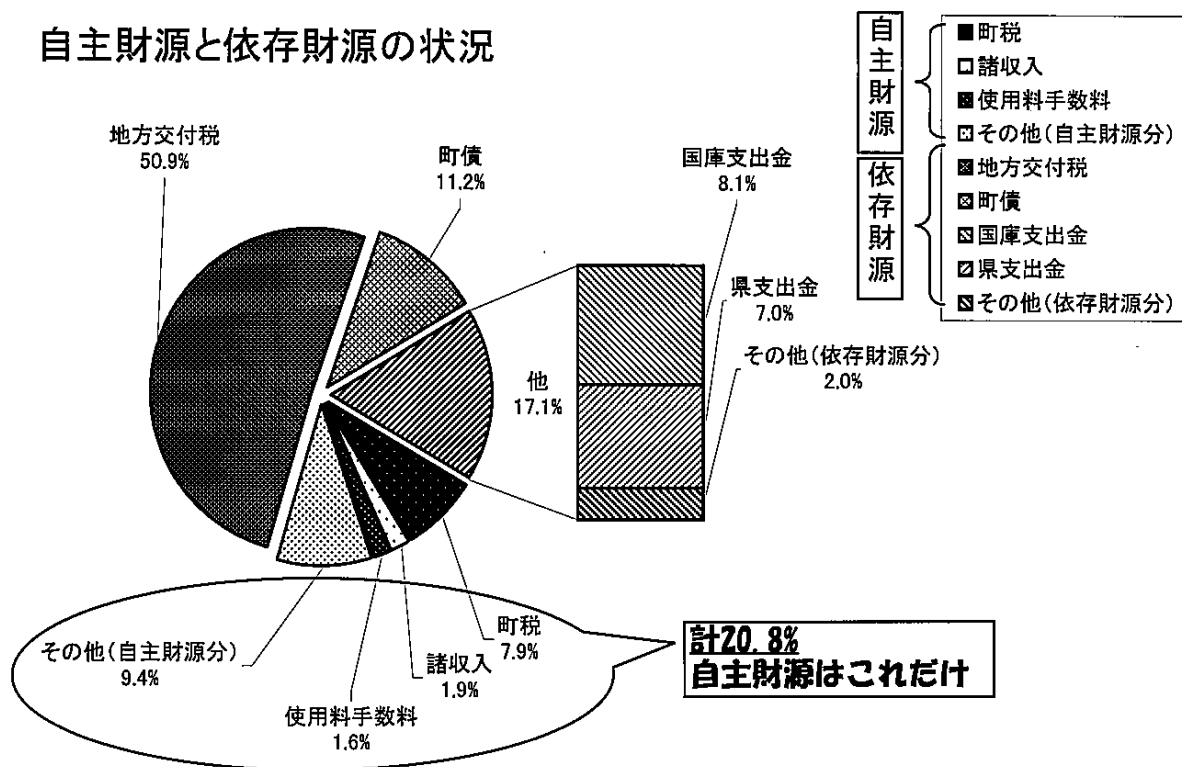
また、歳入を財源別にみると、自主財源(町税、使用料及び手数料、繰入金等)が 1,834,494 千円で 20.8%、依存財源(地方交付税、国県支出金、町債等)が 7,032,588 千円で79.2%となっており、自主財源が前年度に比べ6.2%の増、依存財源が前年度に比べ6.2%の減となっており、依存財源のしめる割合が減少している。

(歳入決算目的別内訳)

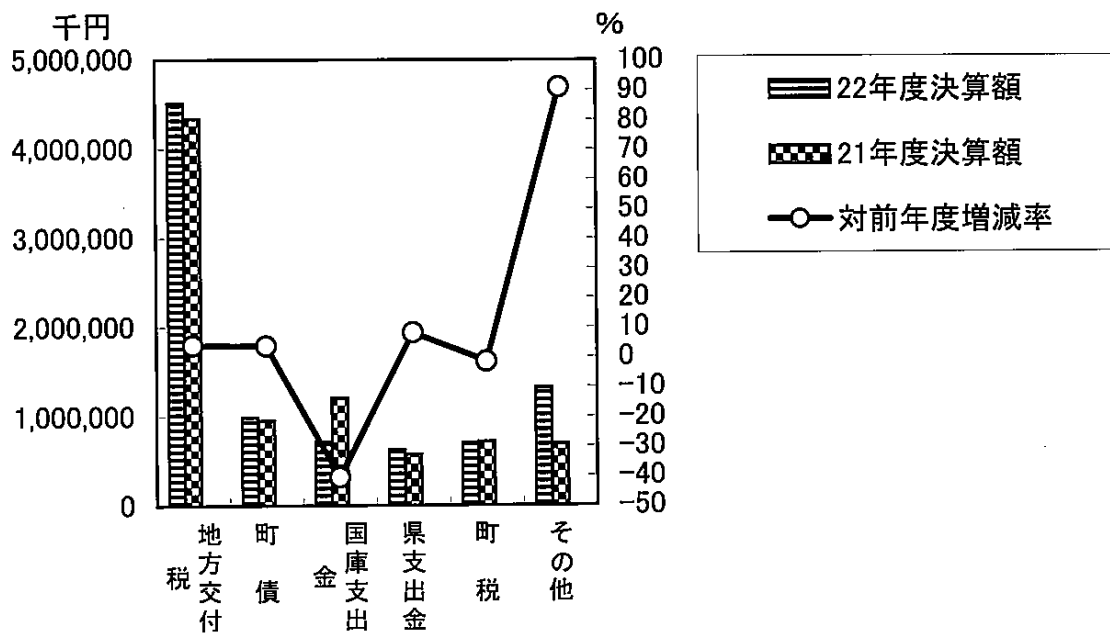
(単位:千円, %)

歳入区分	平成22年度		平成21年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	704,707	7.9	715,658	9.3	△ 10,951	△ 1.5
2 地 方 譲 与 税	63,532	0.7	65,602	0.9	△ 2,070	△ 3.2
3 利 子 割 交 付 金	2,642	0.0	2,552	0.0	90	3.5
4 配 当 割 交 付 金	352	0.0	403	0.0	△ 51	△ 12.7
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	378	0.0	153	0.0	225	147.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	88,784	1.0	88,937	1.1	△ 153	△ 0.2
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	9,309	0.1	10,969	0.2	△ 1,660	△ 15.1
8 地 方 特 例 交 付 金	21,711	0.2	9,739	0.1	11,972	122.9
9 地 方 交 付 税	4,513,502	50.9	4,342,550	55.4	170,952	3.9
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,896	0.0	1,929	0.0	△ 33	△ 1.7
11 分 担 金 及 び 負 担 金	39,181	0.4	32,931	0.4	6,250	19.0
12 使 用 料 及 び 手 数 料	143,169	1.6	141,808	1.8	1,361	1.0
13 国 庫 支 出 金	717,241	8.1	1,205,775	6.6	△ 488,534	△ 40.5
14 県 支 出 金	623,441	7.0	576,299	8.3	47,142	8.2
15 財 産 収 入	38,415	0.4	47,242	0.6	△ 8,827	△ 18.7
16 寄 付 金	14,566	0.2	2,400	0.1	12,166	506.9
17 繰 入 金	353,582	4.0	9,372	1.2	344,210	3,672.7
18 繰 越 金	387,240	4.4	160,722	2.4	226,518	140.9
19 諸 収 入	153,634	1.9	116,085	1.0	37,549	32.3
20 町 債	989,800	11.2	953,889	10.6	35,911	3.8
歳 入 合 計	8,867,082	100.0	8,485,015	100.0	382,067	4.5

自主財源と依存財源の状況



平成22年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

平成22年度一般会計の歳出決算額は8,319,559千円で前年度に比べ2.7%増となっている。

また、歳出額を性質別にみると義務的経費(人件費、扶助費、公債費等)が3,590,540千円で43.2%、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費等)が1,635,334千円で19.7%、その他(物件費、補助費、維持補修費、繰出金等)が3,093,685千円で37.2%となっており、それぞれ前年度に比べ2.9%減、4.0%減、14.7%増となっている。

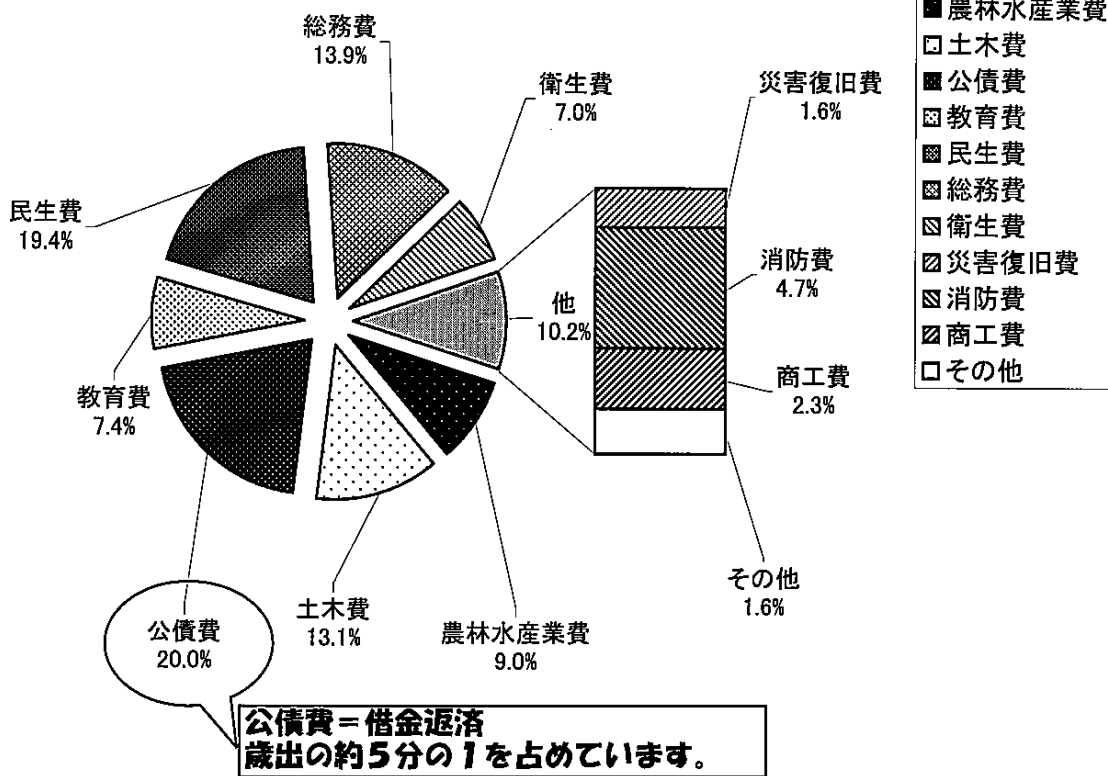
また、目的別の歳出額については下表のとおりとなっている。

(歳出決算目的別内訳)

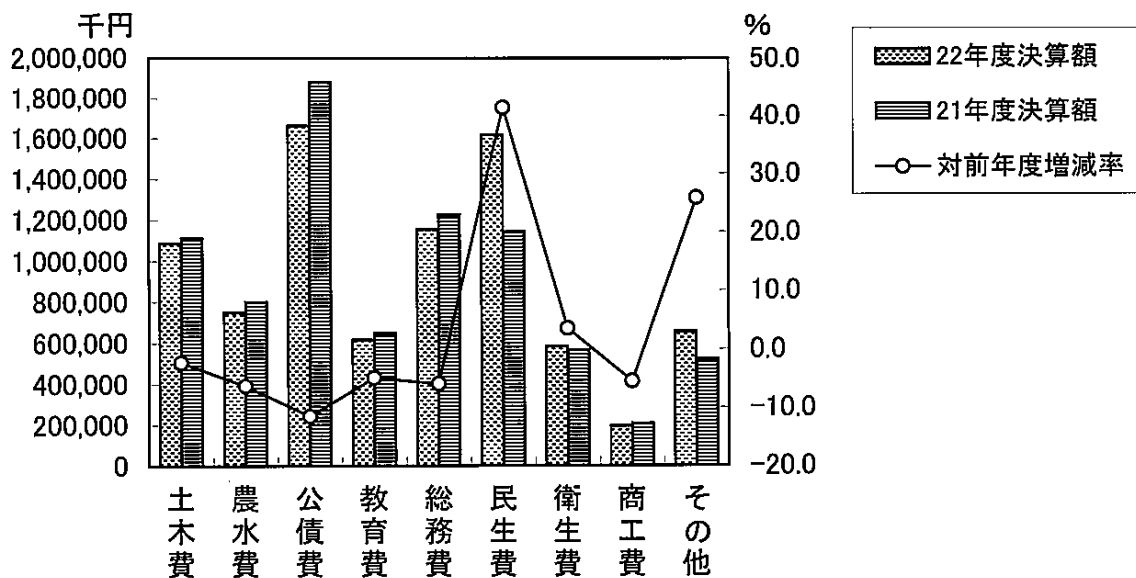
(単位:千円, %)

歳出区分	平成22年度		平成21年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	79,647	1.0	80,232	1.0	△ 585	△ 0.7
2 総務費	1,153,511	13.9	1,225,744	15.1	△ 72,233	△ 5.9
3 民生費	1,616,940	19.4	1,143,495	14.1	473,445	41.4
4 衛生費	584,974	7.0	565,166	7.0	19,808	3.5
5 労働費	7,961	0.1	7,284	0.1	677	9.3
6 農林水産業費	748,733	9.0	799,038	9.9	△ 50,305	△ 6.3
7 商工費	193,987	2.3	205,296	2.5	△ 11,309	△ 5.5
8 土木費	1,086,242	13.1	1,111,450	13.7	△ 25,208	△ 2.3
9 消防費	388,509	4.7	302,331	3.7	86,178	28.5
10 教育費	615,763	7.4	647,632	8.0	△ 31,869	△ 4.9
11 災害復旧費	131,384	1.6	96,334	1.2	35,050	36.4
12 公債費	1,663,764	20.0	1,878,986	23.2	△ 215,222	△ 11.5
13 諸支出金	48,144	0.6	34,787	0.4	13,357	38.4
14 予備費						
歳出合計	8,319,559	100.0	8,097,775	100.0	221,784	2.7

平成22年度一般会計目的別経費の状況



平成22年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

町債は、道路や港湾施設等、住民が長期にわたって恩恵を受ける施設等の建設財源として、町が借り入れる長期借入金であるが、その借り入れ、償還の状況は次の通りとなっている。

町債の借り入れ、償還、現在高の状況

(単位:千円)

会 計 別	平成21年度 末現在高 A	平成22年度 発行額 B	平成22年度償還 額 C	平成22年度末 現在高 A+B-C
(一般会計)	11,835,441	989,800	1,477,796	11,347,445
(特別会計)	1,353,993	75,300	113,594	1,315,699
巡 回 診 療	37,515	28,400	6,487	59,428
国 保 直 診	3,603	0	1,120	2,483
船 舶	131,445	0	27,853	103,592
上 屋	31,300	0	1,301	29,999
農業集落排水	195,722	0	16,265	179,457
簡 易 水 道	954,408	46,900	60,568	940,740
合 計	13,189,434	1,065,100	1,591,390	12,663,144

上 水 道	936,991	0	48,676	888,315
-------	---------	---	--------	---------

2 平成23年度上半期財政運営のあらまし

平成23年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

(1) 予算の規模

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	平成23年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	7,291,299	1,093,846	8,385,145	65.1
(特別会計)	4,876,487	△ 371,823	4,504,664	34.9
巡回診療	402,247	△ 43,802	358,445	2.8
国保事業	2,210,720	△ 254,478	1,956,242	15.2
国保直診	22,031	0	22,031	0.2
と畜場	2,369	168	2,537	0.0
船舶	369,965	△ 22,898	347,067	2.7
上屋	3,532	1,077	4,609	0.0
簡易水道	330,113	△ 88,746	241,367	1.9
農業集落排水	27,645	0	27,645	0.2
介護保険	1,394,780	35,659	1,430,439	11.1
後期高齢	113,085	1,197	114,282	0.9
合計	12,167,786	722,023	12,889,809	100.0

上水道事業	平成23年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	175,358	624	175,982
収益的支出	167,245	2,256	169,501
資本的収入	2	0	2
資本的支出	53,043	0	53,043

一般会計予算款別補正状況
(歳入)

(単位:千円、%)

会計別	平成23年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	712,167	0	712,167	8.5
地 方 譲 与 税	62,001	0	62,001	0.7
利 子 割 交 付 金	2,500	0	2,500	0.0
配 当 割 交 付 金	400	0	400	0.0
株式等譲渡所得割交付金	150	0	150	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	88,900	0	88,900	1.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金	15,100	0	15,100	0.2
地 方 特 例 交 付 金	21,711	0	21,711	0.3
地 方 交 付 税	4,057,925	0	4,057,925	48.4
交通安全対策特別交付金	2,050	0	2,050	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	31,555	0	31,555	0.4
使 用 料 及 び 手 数 料	142,170	250	142,420	1.7
国 庫 支 出 金	608,325	170,346	778,671	9.3
県 支 出 金	465,381	192,307	657,688	7.8
財 産 収 入	41,703	1	41,704	0.5
寄 付 金	3	929	932	0.0
繰 入 金	6,252	116,653	122,905	1.5
繰 越 金	1	516,780	516,781	6.2
諸 収 入	53,405	10,680	64,085	0.8
町 債	979,600	85,900	1,065,500	12.7
合 計	7,291,299	1,093,846	8,385,145	100.0

(歳出)

(単位:千円、%)

会計別	平成23年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	109,782	0	109,782	1.3
総 務 費	772,701	352,945	1,125,646	13.4
民 生 費	1,380,926	106,159	1,487,085	17.7
衛 生 費	514,253	89,811	604,064	7.2
労 働 費	8,404	△ 13	8,391	0.1
農 林 水 産 業 費	605,121	154,890	760,011	9.1
商 工 費	170,466	16,956	187,422	2.2
土 木 費	1,007,065	47,459	1,054,524	12.6
消 防 費	281,813	270,966	552,779	6.6
教 育 費	666,819	31,839	698,658	8.3
災 害 復 旧 費	155,288	7,834	163,122	1.9
公 債 費	1,575,651	0	1,575,651	18.8
諸 支 出 金	33,010	0	33,010	0.4
予 備 費	10,000	15,000	25,000	0.3
合 計	7,291,299	1,093,846	8,385,145	100.0

(2) 予算の執行状況

平成23年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (23年9月30日現在) (単位:千円、%)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	8,385,145	4,362,878	52.0	8,385,145	2,879,950	34.3
(特別会計)	4,504,664	1,216,308	27.0	4,504,664	2,218,503	49.2
巡回診療	358,445	83,189	23.2	358,445	189,104	52.8
国保事業	1,956,242	452,788	23.1	1,956,242	1,133,852	58.0
国保直診	22,031	9,819	44.6	22,031	6,408	29.1
と畜場	2,537	366	14.4	2,537	1,371	54.0
船舶	347,067	59,137	17.0	347,067	199,520	57.5
上屋	4,609	2,871	62.3	4,609	1,558	33.8
簡易水道	241,367	26,537	11.0	241,367	72,156	29.9
農業集落排水	27,645	4,603	16.7	27,645	13,524	48.9
介護保険	1,430,439	552,211	38.6	1,430,439	577,487	40.4
後期高齢	114,282	24,787	21.7	114,282	23,523	20.6
合計	12,889,809	5,579,186	43.3	12,889,809	5,098,453	39.6

(単位:千円、%)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	175,982	74,086	42.1	169,501	50,393	29.7
資本的収支	2	0	0.0	53,043	21,999	41.5

平成23年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	712,167	401,978	56.4
地 方 譲 与 税	62,001	17,559	28.3
利 子 割 交 付 金	2,500	693	27.7
配 当 割 交 付 金	400	422	105.5
株式等譲渡所得割交付金	150	0	0.0
地方消費税交付金	88,900	47,200	53.1
自動車取得税交付金	15,100	1,801	11.9
地方特例交付金	21,711	15,277	70.4
地 方 交 付 税	4,057,925	3,147,272	77.6
交通安全対策特別交付金	2,050	0	0.0
分担金及び負担金	31,555	10,174	32.2
使用料及び手数料	142,420	60,630	42.6
国 庫 支 出 金	778,671	79,295	10.2
県 支 出 金	657,688	23,410	3.6
財 産 収 入	41,704	21,703	52.0
寄 付 金	932	935	100.3
繰 入 金	122,905	0	0.0
繰 越 金	516,781	516,782	100.0
諸 収 入	64,085	17,747	27.7
町 債	1,065,500	0	0.0
歳 入 合 計	8,385,145	4,362,878	52.0

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	109,782	58,671	53.4
総 務 費	1,125,646	381,540	33.9
民 生 費	1,487,085	422,197	28.4
衛 生 費	604,064	212,409	35.2
労 働 費	8,391	4,124	49.1
農 林 水 産 業 費	760,011	180,338	23.7
商 工 費	187,422	112,358	59.9
土 木 費	1,054,524	224,429	21.3
消 防 費	552,779	199,794	36.1
教 育 費	698,658	279,614	40.0
災 害 復 旧 費	163,122	21,411	13.1
公 債 費	1,575,651	783,065	49.7
諸 支 出 金	33,010	0	0.0
予 備 費	25,000	0	0.0
歳 出 合 計	8,385,145	2,879,950	34.3

3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

【一般会計】

i) 公有財産

(1) 行政財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	275.94	0.00
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	176,501.83	30,510.98
計		486,725.29	115,483.95

(2) 普通財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

建 物		2,310.60
土 地	宅 地	57,630.66
	田	3,480.00
	畑	8,169.81
	原 野	4,457,543.83
	山 林	6,852,825.00
	雑種地	81,925.96
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		12,297,286.51

林 野	12,064,951.58
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

② 有価証券

(単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	12,440

③ 出資による権利

(単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	320,241

ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	7
普 通 貨 物	5
小 型 乗 用	12
小 型 貨 物	10
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	16
特 殊 用 途 車	7
大 型 特 殊 車	15
軽 (四 輪 貨 物)	26
軽 (四 輪 乗 用)	14
船 舶	3
原 付	2
合 計	117

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 303,238
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 115,056
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 726
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 15,618
	債 権 15,763
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 32,036
	物 品 40,070
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 9,828
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 4,061
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 36,761
	債 権 6,980
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 15,289
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 20,914
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 8,936
	物 品 1,064
計	667,661

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
と畜場事業会計	0.00	538.99
国民健康保険会計	601.01	119.56
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
計	18,993.28	3,966.80

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	2隻(279.00ト)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
と畜場事業会計	0.00	538.99
国民健康保険会計	601.01	119.56
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
計	18,993.28	3,966.80

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	4台
	レ ン ト ゲ ン	2台
計	6台	

iii) 基 金 (単位:千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	8,480
介護給付費準備基金	39,752
介護従事者処遇改善臨時特例基金	686
計	49,140